

市民病院だより

「腎臓病と透析の予防」

内科医師 黄 泰奉

「腎臓病」や「透析」と言われても、大半の方はピンと来ないと思います。今回はその基本的なお話をしたいと思います。

腎臓とは？

腎臓の働きをひとことでは「体内環境の維持」です。飲んだ水分を尿として出したり、電解質（ナトリウムやカリウムなど）の調節やカルシウムを体内に取り入れるなどのたくさんの働きがあります。

つまり、腎臓が悪くなるとむくんだり、骨が弱くなって骨折しやすくなったり、貧血にもなります。

腎臓病の検査

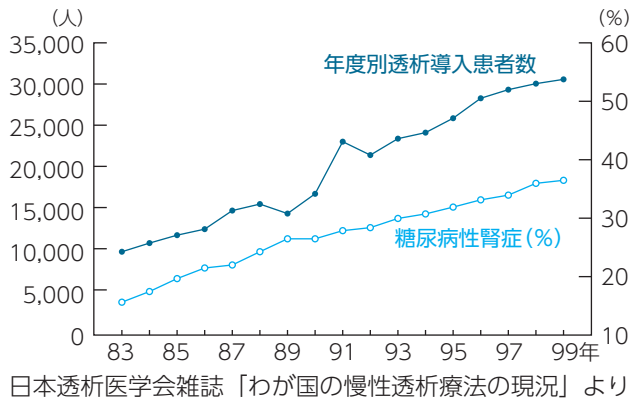
腎臓病は採血や尿検査で比較的簡単に分かります。まず、尿検査では蛋白が繰り返して出ていると、その時点で「慢性腎臓病」の診断が付きまします。

また、血液検査ではクレアチニンという項目が腎機能の目安になります。クレアチニンの正常範囲は男性で1・1mg/dl以下、女性で0・7mg/dl以下となっています。そして、クレアチニン10・0mg/dl以上になれば透析が必要になります。

増加する透析患者

近年のデータでは、日本全体で30万人以上の方が透析を行っています。これは、日本の約400人に1人の割合です。佐賀県でも透析を開始した方は、この10年間で全国2位の伸び率とされています。つまり、透析

を始める方が、佐賀県は日本全国平均よりかなり多くなっています。



透析を予防するには

透析を始める方の中で腎臓病の原因は次の3つが大半です。

1位が糖尿病、2位が慢性腎臓病、3位が腎硬化症です。

新たに透析を始める方の約半分が糖尿病によるものが原因です。糖尿病患者は日本に約2000万人で、6人に1人が糖尿病やその予備群とされています。

す。また、その2,000万人のうち、きちんと治療を受けている方は1割程度ではないかと考えられています。このように、糖尿病患者が増えているため、今後透析患者も増えることが予想されます。

それでは、透析を予防するにはどうすればよいのでしょうか。ポイントを次にまとめました。

ポイント



- ①年に1度、住民健診を受けてください。尿蛋白の有無を確認し、もし異常があれば医療機関を受診してください。
- ②腎臓や糖尿病がある方は定期的に医療機関を受診し、必ず適切な治療を受けてください。
- ③腎臓や糖尿病が進行している方はかかりつけの先生から専門医に紹介してもらいましょう。

時間外受診をされる方へ

急病などでの時間外受診の場合は、必ず電話で宿日直医師の担当診療科をお問合せください。専門外の疾病の場合は、診察できませんのでご了承ください。

【問合せ】小城市民病院 ☎ 73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>